

健診検査センターニュース

No.443 号

運営委員会より

2 月 17 日（木）平成 22 年度第 11 回の委員会を開催いたしました。

1. 特定健診 1 月の実施件数は、下記のとおりでした。

	1 月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率
函館市国保	576 名 (+ 65)	9,346 名 (+1254)	16.1%
後期高齢者	157 名 (+ 47)	1,742 名 (+ 382)	受診対象者 58,135 人 目標受診率 45%
その他	83 名 (- 88)	1,655 名 (+ 156)	
合 計	816 名 (+ 24)	12,743 名 (+1792)	26,160 人

個別健診実施機関：95 施設／登録機関 115

1 月は、国保と後期高齢者で前年比 112 名の受診者増と順調な伸びを見せました。しかし、社保・共済・組合健保のその他で前年比 88 名減となり、合計では微増との結果となりました。2 月に入り各医療機関様への受診者が増えてきています。残すところあと一月、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 22 年 1 月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	1 月（前年同月比）	22 年度累計（前年比）
一般検査収入	104.7%	101.1%
健診収入	81.3%	106.0%
合 計	93.4%	103.1%

3. 平成 23 年度の収支予算案について協議し可決承認いたしました。

平成 23 年度は、公益法人会計として資金収支予算から正味財産増減予算へ移行の年となり、両予算の違いなど詳細な説明がされ承認されました。

4. その他

臨時職員 1 名の採用が報告されました。

《 ちょっと一言 》

全国的には、インフルエンザの流行も下火になってきていると聞きますが、ここ函館では、先日注意報発令となりました。まだまだ、気を緩められない状況ですね。

それにしても思うのですが、このセンターニュースの、しかも、この私のちょっと一言のコーナー(?)を読まれている方が一体どの位いらっしゃるものなのでしょうか?

いつも、そんなこと思いながら原稿を書いております。

ここ数日で驚いた事は、あの天下の武田の「ダーゼン」が効いていない可能性が強いとのことで、自主回収になったことですね…。聞いた話では、現在でも年間60億円の売り上げをあげている薬らしいです。後発品を合わせると、どれだけ出ている薬なのかと驚いてしまいます。

何十年間、発売されていた薬かわかりませんが、恐らく莫大な売り上げをあげたのでしようが、それが今になって「効いていない」とは驚きです!!

一世を風靡した、アバン、カランって薬もそういえばありましたね……。

そう考えると、本当に効いているのか?…と、思う胡散臭い薬って結構ありますよね…。(笑)

近々、アルツハイマー認知症の薬が数種類発売されますが、数十年後このような事がなく患者さんに恩恵をもたらす薬であって欲しいものですね!!

今月は、色々な会の幹事会やら役員会等で、アルコールの量も増えがちですが、体調管理に気をつけて、頑張ってお仕事に励みましょう～～!!

(文責 広報部 平山繁樹)